

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	2	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	秘書事務に要する経費	秘書広報課			①市長、副市長の執務にあたっての秘書業務及び栄典・表彰に関する事務、市長会に関する調整等を行う。 ②秘書業務を正確かつ効率的に行う必要がある。市政功労者を確実に表彰するため、庁内に制度の周知を図る。	2,936	3,026	6精査・検 証	①市民ニーズの多様化及び市民協働の活発化に対応するため、秘書事務の正確性をより向上させる必要があるから。 ②複数でのチェック体制の徹底や業務知識の向上を図る。新たに創設した「市民栄誉賞」の制度を活用する。	3,819
2	一般	2	1	411地方分権と市民 参加の推進	広報に要する経費	秘書広報課	○		①広報:「広報まがや」を月2回発行する。ホームページ等・緊急性のある行政情報を含め、情報提供を随時行う。 ②広報:より多くの市民が閲読できる環境(配布・配置等)の整備。ホームページ:アクセシビリティの検討・改善。	19,204	18,724	6精査・検 証	①市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政が情報を共有する必要があるため。 ②広報:紙面の一部カラー化を行う。ホームページ等:ホームページ、ツイッター、フェイスブックの内容の充実を図る。	23,575
3	一般	2	1	411地方分権と市民 参加の推進	広聴に要する経費	秘書広報課			①市民意識調査の実施(対象:市内在住の20歳以上の市民3000人) ②後期基本計画の成果指標として活用しているが、前回調査と同じ設問が半数以上で、内容が硬直化している。	0	2,480	6精査・検 証	①市民の意見・要望をまちづくりに反映するため、各所属の意見も聞き、調査項目を検討する。 ②5年に1度の事業のため、次回は平成30年度に実施予定。	0